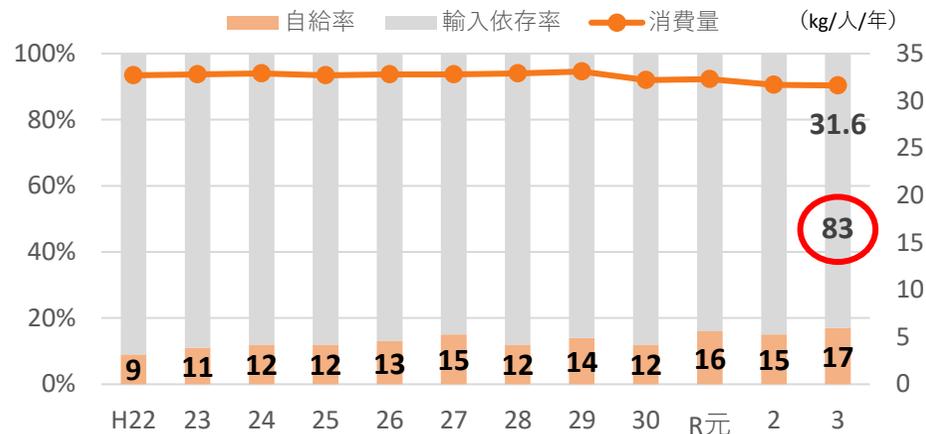
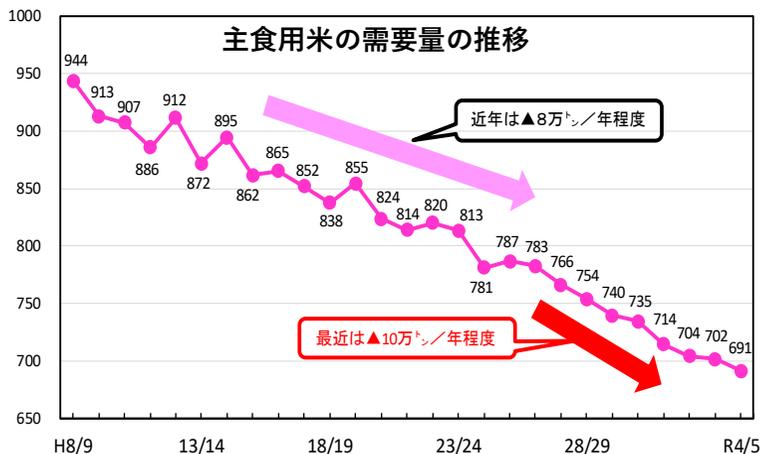


○ 全国の**主食用米の需要量**は、最近では**毎年10万トン程度減少**を続けており、今後も人口減少等から**需要量の減少が続く**と見込まれています。

○ 一方で、**小麦の消費量は安定**しています。また、**8割強を外国産が占めており、国産に切り替える余地**が大きいと考えられます。



○ 近年、小麦の品種が改良され、また消費者の**国産志向の高まり**を受け、**国産小麦を使った商品開発や原料の国産への切替え**が進んでいます。

○ **新潟県内でも、以前と比べて成熟期が早い新品種(※)**が普及し、**作付面積が拡大**しています。
※収穫時期が新潟の梅雨と被りにくい。

国産小麦を使用した商品の例



県内事例



N-crops (新潟市)



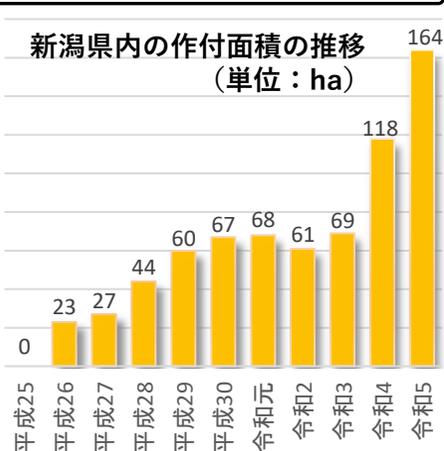
麺屋あごすけ (上越市)

新潟県内で作付けされている品種



(ゆきちから：新潟市江南区)

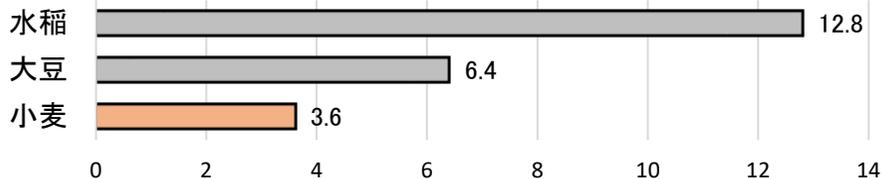
新潟県内の作付面積の推移 (単位：ha)



稲作農家にとって小麦栽培に取り組むメリット

- 面積当たりの**労働時間は、水稲より大幅に少ない**。
また、水稲と作期が異なるため、**労力の分散が可能です**。

○10aあたり労働時間（令和4年産） 組織法人経営体全国平均 単位：時間



新潟での作業スケジュール

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
排水対策										
播種										
施肥 除草										
追肥										
追肥 防除										
収穫										

↓ 詳しい栽培暦



小麦栽培の主な課題と対応

排水対策の徹底

- 湿害は麦の単収・品質の低下要因。湿害により生育不良、未熟穂等が発生し麦の単収・品質に大きな影響を与えています。
- ほ場条件に応じて弾丸暗渠、心土破碎などの排水対策を行うことが重要です。

品質向上と安定供給

- 国産小麦は年や地域によるタンパク質含有量（食感等に影響）の振れが大きい。
- 生育診断により適期、適量の追肥を行うことでタンパク質の向上が期待できます。

赤カビ病対策

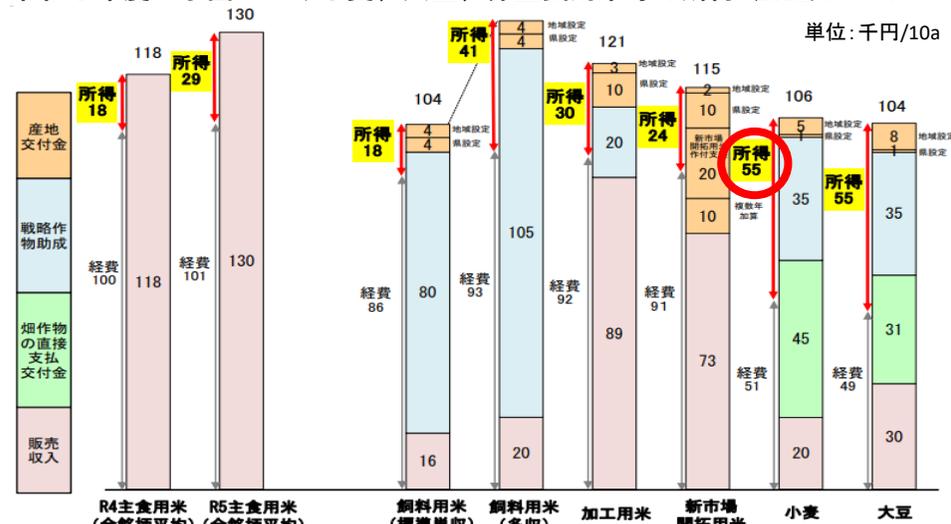
- 赤かび病菌が作るかび毒は人や家畜に有毒なので適切に防除しましょう。
- 赤かび病菌は花から感染するので、開花始めに適切な薬剤を撒くと効果的です。

日本海側砂丘地機構における砂丘畑地パン用小麦の栽培技術マニュアル→
（農業食品技術総合研究機構）



○ 国の交付金等により、**主食用米並みの所得**を確保することが可能です。

令和6年度の水田における麦、大豆、非主食用米等の所得（10a当たりのイメージ）



(注) 全国ベースの試算。新潟では小麦の単収が全国平均より低く、「販売収入」は上記より小さくなることに留意。

農水省の主な支援策

【所得確保支援】

○ 畑作物の直接支払交付金

平均交付単価（令和5～7年産）

課税事業者向け 平均交付単価 **5,930円** (60kg)

免税事業者向け 平均交付単価 **6,340円** (60kg)

○ 水田活用直接支払交付金

35,000円 (10a)

【生産技術向上支援】

実需と連携し、麦大豆の増産を目指す産地に対し、水田・畑地を問わず作付けの団地化、ブロックローテーション、営農技術・農業機械の導入を支援します。

○ 営農技術等の導入（定額）

詳細はこちら→

○ 機械・施設の導入（1/2以内）

